

令和4年度 版画学会 定期総会 議事録

○第2回運営委員会

令和4年 11月19日（土）10:00～12:00

○定期総会

令和4年 11月19日（土）13:00～15:00

会場 上田市立美術館 1階 子どもアトリエ

議長：倉地比沙支 会長

議事進行：事務局長 井出創太郎（愛知県立芸術大学）

運営委員会

出席者10名、委任状9名で合計19名となり、運営委員総数26名（11月現在）の過半数を超え運営委員会は成立した。

定期総会

出席者30名、委任状198名で合計228名となり、会員総数375名（11月現在）の過半数を超え総会は成立した。

議事内容

令和4年度 版画学会定期総会において以下の議案が審議了承された。

1. 会長挨拶（倉地比沙支会長）

今年度は上田のスケジュールに合わせ開催が2週間ほど早まったが、2023年度からは従来通り12月初旬に戻る予定。上田市美術館のご協力にお礼申し上げます。展覧会事務局の生島先生のもと滞りなく搬入も終わることができた。学生作品販売も今年度から本格的に行っている。また、学会事務局代行業者によるサポートもスタートしている。皆様のご助力のおかげである。忌憚のないご意見を伺いながら、より良い学会運営を行いたい。日本の版表現の発展に努めたい。

2. 学会事務局（愛知県立芸術大学）

井出事務局長より表記の件について説明がなされ、了承された。

2-1新入、移動、退会、賛助会員の動向

入会希望 1名、名誉会員0名、退会希望4名、除籍1名、逝去0名、所属先変更4名、住所変更14名、メールアドレス変更11名、メールアドレス不明21名

2-2令和5年度予算案について

予備費を支出としても、若干の繰越金を捻出する予算案とした。

○収入の部：前年度繰越金、会費、寄贈作品輸送費（20万円を計上）、全国大学版画展出品校負担金（18万円を計上）、学生作品販売部門寄付金（5万円を計上）

○支出の部：

■学会事務局（会議費、郵送費、事務費、ホームページ管理費、賞金費、業務委託費、名簿作成委託費）

*賞金費（26万円）：優秀賞25点及び観客賞1点＝合計26点×1万円

*業務委託費（42万円）：委託業者への事務局業務委託費として計上

※名簿作成委託費（0円）：令和5年度は名簿作成をおこなわない。

■展覧会実行委員会

全国大学版画展部門（事務経費、パーティー費、全国大学版画展実行委員会出資金、撮影費、寄贈作品輸送費）

※全国大学版画展実行委員会出資金（50万円）

※寄贈作品輸送費（20万円）

■学術研究委員会

版画学会誌編集部門（デザイン料、印刷費、雑費、外部査読謝礼）

特別企画研究部門

会員支援事業

■予備費（20万円）

2-3 会長・副会長、事務局長・専門委員会、新運営委員選出について

令和5年度からの体制は以下に決定した。

会長：清水美三子（女子美術大学）

副会長：中村桂子（東北芸術工科大学）

事務局長：結城泰介（東北芸術工科大学）

相談役：倉地比沙支（愛知県立芸術大学） ※議事録末に記載

運営委員

令和5年度からの運営委員は以下に決定した。

- ・ 東北ブロック運営委員（定数3）

結城泰介（東北芸術工科大学）、中村桂子（東北芸術工科大学）、平垣内清（宮城教育大学）

※吉田潤先生（札幌大谷大学）の推薦

- ・ 関東ブロック運営委員（定数7※関東ブロックは1名の定員増となった。）

生嶋順理（東京造形大学）、清水美三子（女子美術大学）、笹井祐子（日本大学）、高浜利也（武蔵野美術大学）、古谷博子（多摩美術大学）、三井田盛一郎（東京藝術大学）、田島直樹（筑波大学）、鈴木吐志也（創形美術学校）

補足事項（2023年夏季総会報告事項）：古谷博子（多摩美術大学）→大島成己（多摩美術大学）

- ・ 中部・北陸ブロック（定数2）

蜂谷充志（常葉大学）、倉地比沙支（愛知県立芸術大学）

- ・ 関西ブロック（定数5）

田中栄子（京都市立芸術大学）、清水博文（京都芸術大学）、日下部一司（大阪芸術大学）、濱田弘明（嵯峨美術大学）、池垣夕ダヒコ（京都精華大学）

- ・ 中国・四国ブロック（定数2）

平木美鶴（徳島大学）、五十嵐英之（倉敷芸術大学）

- ・ 九州・沖縄ブロック（定数3※1名減となった。）

於保政昭（大分県立芸術文化短期大学）、西川洋一郎（九州産業大学）

・全国ブロック（定数5）

野口玲一（三菱1号美術館）、三木哲夫（兵庫陶芸美術館）、奥村泰彦（和歌山県立近代美術館）、都築千重子（東京国立近代美術館）、小笠原正（上田市立美術館）

3. 展覧会実行委員会

全国大学版画展部門

生嶋順理先生（東京造形大学）より表記の件について説明がなされ、了承された。

3-1 第47回（令和4年度）全国大学版画展報告

会期：2022年11月19日(土)～12月4日(日)*火曜日休館（14日間）

会場：上田市立美術館

参加校：40校(昨年41校)、出品作品数：175点(昨年175点)

*常葉大学が不参加となった。

展覧会初日：レセプションなし。運営委員会、総会を開催。

<優秀賞選考日程>

投票期間：11月19日(土)～11月27日(日)、会場にて投票。

集計：11月28日(月)に美術館学芸員で集計。

賞の決定・通知：11月29日(火)に学会事務局が行う。

授賞式・受賞者トーク：12月4日(日) 13:00～15:00

<賞>

「優秀賞」 25点程度 本学会会員による選考、賞状及び賞金授与。

「上田市立美術館賞」 1点、上田市立美術館による選考、賞状及び賞金授与。

「町田市立国際版画美術館賞」 7点程度、町田市立国際版画美術館による選考、作品収蔵賞状授与。

「観客賞」 1点、観覧者の投票、受賞者には賞状及び賞金授与。

<公開講座・ワークショップ>

○木版ライブパフォーマンス

「Vivian Sui Method によるインダストリアルウッドブロックエクササイズの実演」

講師：Vivian Sui Method (数見亮平、桐月沙樹、齋藤匠、須田貴哉)

開催日：2022年12月3日(日)14:00開場、15:00開演(～16:00)*日程変更

会場：上田市立美術館1階 市民アトリエギャラリー

○シルクスクリーントートバッグ作り

「マイフェイバリット・版・ピース」講師：西平幸太

開催日：2022年11月26日(土)13:00～17:00、

会場：上田市立美術館1階 市民アトリエギャラリー、*対象高校生以上、定員10名

<観客賞・プレゼント版画作品寄贈作家>

石橋佑一郎／佐竹邦子／張 諒太／常田泰由／吉田亜世美

<その他>

展覧会の役割分担は、東京五美大+東京芸大の他、渋谷ファッション・アート木村繁之先生、創形美術学校鈴木吐志哉先生、東京学芸大学清野泰行先生にご担当頂いた。

町田市立国際版画美術館から受賞作品輸送に、20万円の予算で業務委託を受けることになった。

3-2 第48回（令和5年度）全国大学版画展

会期：令和5年（2023年）12月2日（土）～12月24日（日）休館日：火曜日

主なスケジュール

10月下旬 出品作品データ提出締め切り

11月25日 搬入10：30-15：00

12月2日～12月10日 優秀賞投票（展覧会場で投票）

12月3日 公開講座（上田市立美術館市民アトリエ・ギャラリー）

12月9日 ワークショップ（上田市立美術館市民アトリエ・ギャラリー）

12月24日 授賞式、受賞者によるギャラリートーク

来年度は以前通り12月頭から開催し3週間の会期。出品データの締め切り・搬入が今年度より2週間遅れる。賞の決定通知を行ってから会期が2週間ある。搬出については年内に大学に到着となると受け取りが年末年始で難しくなる。そのため、年明けまで美術館で保管していただき、1/4-5に発送の予定である。運営委員会で1/4-5でも難しいということがあるので、何日ごろまで保管可能か再度美術館とすり合わせを行う。

学生作品販売部門

田島直樹先生（筑波大学）に代わり井出事務局長より表記の件について説明がなされ、了承された。

3-3 2022年度（令和4年度）学生作品販売部門

出品点数：30校168名の作品を販売予定（事前調査では35校208名の申請あり）

今後のスケジュール

- ・会期終了後、ミュージアムショップから作品を筑波大学へ返送。
- ・売上の2割は販売経費としてショップへ（5割を学生、3割から経費を引いたものを学会へ）
- ・参加校へ作品の返送と売上金を現金書留にて郵送予定（2月頃）。

4. 学術研究委員会

版画学会誌編集部門

遠藤竜太編集長より表記の件について説明がなされ、了承された。

4-1 【報告】51号進捗状況報告

<登録者数>特集「プリント・イノベーション」4名、制作報告7名、論文4名、研究報告2名、トピックス 1名<スケジュール>2022年11月1日 論文、研究報告、トピックス原稿締め切り

2022年12月18日 特集、制作報告 原稿締め切り

2022年11月1日～ 査読/校正/デザイン

2023年3月1日 2022年度学会誌(Web)発行

4-1 【審議事項】52号計画

<予算案>

印刷費（A4／100P／50部／オンデマンド）：100,000円、デザイン料（3000円／1P×ページ数＋諸経費＋レイアウト見本）：350,000円、雑費（オンラインストレージ追加など）：5,000円、外部査読謝礼：20,000円（10,000円／1件×2件）

合計：475,000円

<次年度編集委員会体制>編集委員長：古谷博子（多摩美術大学）

編集委員会担当校：名古屋芸術大学 担当：片山浩

編集委員：北海道・東北ブロック：結城泰介（東北芸術工科大学）、関東ブロック：大橋朋美（日本大学）・元田久治（武蔵野美術大学）、中部ブロック：（未定）、関西ブロック：王木易（京都市立芸術大学）、中国・四国ブロック：五十嵐英之（倉敷芸術科学大学）、九州・沖縄ブロック：石橋祐一郎（九州産業大学）

特別企画研究部門 デジタルアーカイブ化事業

蜂谷充志先生（常葉大学造形学部）・谷口真嗣先生（常葉大学短期大学部）に代わり井出事務局より表記の件について説明がなされ、了承された。

4-2 令和4年度アーカイブ事業進捗状況報告

これまで収集されたものをデータベースにまとめ、運用ウェブサイトを完成させたが、その精査は不完全である。今後、構築したプラットフォーム上でアーカイブとして確実なものとするため精度をあげる作業を行う予定。

現在においては、当該のサイトは一般公開のレベルになく、学会員のみ閲覧に制限し、会員から助言や意見を求める。

登録者数＝1,175名、

作品数＝1,425点(内、画像は455枚) ※2022年11月現在

作者、受賞年、大学毎に作品を選べ、また作者名、作品名でも検索可能とした。

<今後の行程と分担>（アーカイブ担当委員に依頼）

既存データの精査

未処理保管画像・作品情報のフォーマットを統一しデータベース化（固有ファイル名へ変換）

未整理・追加データの処理

5. その他

5-1 全国大学版画展出品校負担金について（学会事務局）

定期総会終了後、事務局から出品校に振込依頼を行う旨、説明があった。

・事務局業務の業務委託移行期間であることから、振込に際しては、昨年度と違う振込先（版画学会振替口座から版画学会総合口座へ変更）とした。

・個人名ではなく大学等の名称での振込を厳守する。

5-2 優秀賞の投票方法について（学会事務局）

投票期間：令和4年11月19日（土）～11月27日（日）厳守

場所：上田市立美術館 大学版画展展示会場

方法：1階受付にて会員であることを伝え、投票用紙をもらう。

※1人20名の選出

※候補の出品作品に関して、キャプション右上の番号を下記の投票記載欄に記入する。

※1大学につき最大4作品以内。（5作品以上は無効）

※20作品を必ず記載。19作品以下や記載数超過は無効。

記入後、1階受付に投票用紙を渡す。必ず会員名・大学番号・作人番号を記載する。

5-3 その他

○国立印刷局の講演について

高浜利也先生（武蔵野美術大学）から資料をもとに国立印刷局の講演について説明がなされた。

武蔵野美術大学で講演（2022年9月16日）を行い、東北芸術工科大学でも行う予定（2022年12月9日）である。また、来年度の大学版画展の公開講座でも行う予定である。

倉地会長：社会連携の推進もこれから図っていきたいと考えている。他大学からもこのようなものの紹介があれば、吸い上げていきたい。このような取り組みが助成金申請など学会運営にも役立つため、そういった意図で学会から紹介いたします。

○上田市立美術館プロムナードへの作品展示の可能性について

展覧会事務局の生嶋順理先生(東京造形大学) からプロムナードへの作品展示についてご提案があった。

補足事項 井出事務局長

1. 【審議事項】 会長・副会長、事務局長・専門委員会、新運営委員選出について運営委員会で倉地比沙支会長に相談役を担っていただき、運営に関わっていただくという話でまとまった。規約に相談役の記載がある。

承認